

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（令和元年度第2回）

日 時：令和2年3月26日（木）14:00～16:30

場 所：倉敷工業高等学校 / 遠隔参加

記 録：久戸瀬

1 開会

2 報告・協議

- ・各担当より今年度の活動報告（概況）
- ・司書部会研修会について
 - ・令和2年度（第1回）合同司書部会… 当初予定 4/24（金）岡山東商業高校
 - ・研修A（初任研）／研修B
 - ・学校図書館基本情報アンケート
 - ・次年度の合同研修・支部研修の持ち方
- ・次年度の組織、役割分担について
- ・当面の活動について
 - ・県立学校システム統一事業について
 - ・高等学校図書館間サポート事業について
 - ・でーれーBOOKS 2020について
 - ・司書部会メーリングリストについて
 - ・その他
- ・学校図書館活用教育研究委員会について
- ・県立図書館から
- ・ネットワーク研究委員会および司書部会のあり方について
- ・その他
 - ・新型コロナウイルス対策への対応について
 - ・GIGAスクール構想の影響について
 - ・その他

3 その他

- ・部活×図書館
- ・高校ビブリオバトル岡山県大会の実施について

4 閉会

岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（令和元年度第2回）議事録

議題1）令和2年度（第1回）合同司書部会について

当初予定 4/24（金）岡山東商業高校

3/24付岡山県教委の通知の内容を鑑みるに、4月での集合研修の実施は難しいと思われる。

○4月中の対応について

代替案1 初任研含め、すべて中止

遠隔でできる内容を検討して実施する。

研修A（初任研）→電話、小規模訪問等でのサポート体制を強化

研修B（授業で役立つ資料の把握）→インターネットを活用しての情報交換等

基本情報アンケート→インターネット経由での集約、配布

※小規模の支部司書部会、打ち合わせ会等を実施することは各支部の判断

代替案2 初任研のみ実施、その他は中止

研修A（初任研） 感染予防対策を施した上で実施（日程、会場は再検討）

その他は案1に同じ

決定事項

代替案2の修正 初任研のみ延期・小規模化、その他は中止（遠隔で対応）

- ・研修A（初任研） 4月の合同では実施しない。小規模（支部ごと）での実施を検討。今後の新型コロナウイルス対策の様子をみながら、実施できそうな状況となれば実施する。各支部で時期、会場、講師を模索する。（可能な限り早い時期に）サポート校の周知に合わせて体制を整え、相談を促す。美作支部は少人数なので、初任者を含めた全員での研修会も検討する。
- ・研修B（授業で役立つ資料の把握）→インターネットを活用しての情報交換等
- ・各支部連絡協議・おすすめ本 →インターネット、電話等を活用して進める（支部の裁量で）
- ・基本情報アンケート →各校で記述はしてもらう。印刷配布は次の研修時（時期未定）
急ぎの内容はそれぞれでたずねる。当面は前年度のものを活用。

役割分担

全体統括：ネット研

各支部：文書作成、決裁、送付、その他年度当初の決めごと、連絡など

研修A：読書推進サポート班＋初任研担当（備中）＋各支部

研修B：研修企画班（＋活用教育研究委員会）

※ICTの活用についてはシステム検討会がサポートする

※4月すぐのサポート校連絡で当面必要な内容を検討。

※実施中止のお知らせ、その他必要な連絡は通常実施時と同様に支部決裁文書＋事務連絡文書

○5月以降の対応について ※次の議題とも関連

A案：4月の研修を短期延期扱いで5～6月に状況が許せば開催を視野に入れる

B案：第2回（7～9月）を合同司書部会として実施する。

C案：第2回は各支部で実施、次回合同司書部会は12月とする。

決定事項

（B案 ※初任研はA案）次第2回の司書部会研修会は、当面は状況が見通せないことや6月の備中支部総会、7月の学校司書研究協議会（倉敷大会）など元々の予定行事もあるため、9月をめどに合同司書部会を想定する。12月（第3回）も合同。コロナ状況次第では、支部単位での実施に変更やさらに延期、中止などもありえる。2月（第4回）は支部ごとで実施予定。

※ 第1回研修会は備前・備中支部は初任研のみ実施。美作支部は通常研修を実施。

議題2）次年度の合同研修・支部研修の持ち方

毎年この件では意見が分かれている。大勢としては備前は4回、備中は2回支持が多かった。

	4回すべて合同で行う	支部2回・合同2回
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・全支部で共通の認識をしやすい ・経験年別、学科別に研修やグループを分けるなどの展開をしやすい ・支部間の情報交換をしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模で運営がしやすい、顔の見える関係をつくりやすい ・それぞれの研修ニーズで展開しやすい ・合同と支部の回で変化をつけやすい
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・移動距離が長くなる。旅費の問題も ・運営の準備が重い、頻度が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの支部での検討が必要 ・メンバーが固定化されがち
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・合同の際にも適宜、支部での時間を持ち支部運営に活用する ・細かく意見を吸い上げてさまざまなニーズにあった企画をする ・旅費について申し入れをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・支部研修の企画は支部主導に戻し、研修企画班の負担を軽減する ・支部間の情報共有に努める ・総会、研究協議会等の集まりの機会を情報交換に使えないか検討

双方の立場でさまざまな意見が出た。方向性としては以下のとおり。

決定事項

→4月が中止となったので、次回第2回は合同で行う。合同を連続実施する効果を検証するためにも、12月（第3回）も合同で行う。会場は合同で行うが、支部の時間を長めにとることで、支部の自主的な研修企画を実施するとともに、研修企画班の負担を軽減する。合同研修は経験年別実施などの工夫を検討する。3学期実施の第4回は支部単位で。それらの状況をふまえて令和3年度以降について検討する。

議題3) 次年度の組織、役割分担について

→支部からの原案に異論はなかった。未定の部分など、細かく調整して後日提示する。

→活用教育検討会が委員会となったことにより、システム検討会は「システム・ICT活用班」と名称変更して、「班」に統一してはという提案は、システム統一が完了するまでは、元の名称のままの方が混乱しないであろう、ということで見送り。(変更なし)

→次期ネット研委員長決定。

報告1) 新型コロナウイルス対策への対応について

様々な情報を吟味して判断することが求められる状況に対応するため、この機会に情報リテラシーについての研修をしてはどうか、という意見あり。

現在各校で行っていること、これから取り組むことをMLを利用して情報交換してはどうか。

報告2) GIGAスクール構想の影響について

高校でも一人1台のタブレットをもつ学校が増えている。各校の状況調査をしてはどうか。